



みんなの文芸

俳句

ことぶき俳句会

夜半より雨の音なく花菖蒲
目に見えぬ力に守られ麦伸びる
青もみじくぐりて風の色となる
真夏昼焼き魚一尾残りけり
温泉路つづく片側木下闇
雨しとしと流血のごとく牡丹咲く
六月のバス吞まれそうなダム手前
若楓風に吹かれて揺れており
晩年の戸口アカシア花盛り

稲田 文江
大山さよ子
大山みどり
越坂 順子
橋本 葉子
福原 仁子
松尾枝実子
渡邊 道
高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

身の丈の心の糊代読める年齢
日本はどうなるのです国会座
ささくれて無情の風に老いを知る
旧友の逝きし報せに気もそぞろ
雑踏の流れに足が謀叛する

阿部 麗紅
柴田 弘子
星 愛子
橋本 葉子
山村 幹雄

川柳

上浦幌句の会

出不精の私を誘うチューリップ
枯れたのか心配したが芽吹く栗
災害地日本の美が生まれてる
どうしたの異変だらけの地球さん
カッコウ鳥啼くのを待たず豆を蒔く
ジーンズの穴も立派に連休日

笹島カヨ子
河村みよ子
大西 功
山田エツ子
福田すま子
芳川 乙美

短歌

心友愛会

一日がとても長く寂しくて
仲間と会う日を指折り数え
草畑何時になったら花畑
そのうち白い雪の花が咲く
帯広へ孫の車でお買い物
とても楽しく感謝の一日
毎日を孫と一緒に暮らして
多忙の中に心癒され
咲き誇る空木の花蜜求め
飛び来るハチの様子に見惚れ
花に水運ぶ手間なく樽並べ
雨水貯めて一人微笑む
七夕の夏の一時夕涼み
星空を眺め願え楽しむ
人生は無常の風にさらされて
又一人逝く義兄の寝顔は
猛暑あり一日家で夕涼み
運動がてらに買い物に出る
ハウスの中キュウリやトマトが豊作で
近所の人におすそ分けつつ
大津漁港湖の香りを嗅ぎながら
魚を捌いて夫と語らん
さわさわと緑を抜け来る風の声
故郷までも便りを乗せて

小澤 つや
堀井あやの
角田美代子
山口 静子
山岸 明美
長屋みよ子
前川 静江
富田さた子
文屋 房子
田代 チエ
浅野 京子
星 愛子

編集後記

■表紙の写真は、10日に開催されたこども祭りのひとコマです。多くの親子連れでにぎわいました。真夏の焼けつくような日差しの中、大人たちは少しバテ気味でしたが、子どもたちは大はしゃぎで遊んでいました。

■いよいよ夏本番。今年も暑くなりそうですね。過日、万年交差点花壇の草取り作業を行いました。その時も暑くて汗だく。熱中症にならないかちよつと心配になりました。皆さんも庭の手入れなど、これから外で作業することが増えると思いますが、熱中症にならないように注意しましょう。

(川)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。